



令和4年6月13日
令和4年度学校だよりNO.13③
加古川市立平荘小学校

参観をありがとうございました

6月10日（金）に、オープンスクールを行いました。1校時に参観授業、2・3校時にインターネットトラブル防止講座を行いました。1・2校時の学習において、公開を行いました。
コロナ禍の中、コロナの感染防止対策を講じながらのオープンスクールとなりましたが、ご理解ご協力をいただきまして、大変感謝申し上げます。



インターネットトラブル防止講座

今年度は、親子で学習する機会として、6月10日（金）の2校時に、インターネットトラブル防止講座を開催しました。NIT 情報技術推進ネットワーク（株）の篠原嘉一氏をお招きし、「ネット社会に潜む危険性について」をテーマに、子どもたちと共に、保護者の皆様にも講座に参加していただきました。

ネット社会は、どんどん進化しています。どんなことがネット社会に潜む危険性なのかを知ってネット社会と付き合っていくのと、ネット社会の危険性に気付かずにネット社会と付き合っていくのでは、ネットへの関わりが大きく違ってきます。ネット社会がどんな状況にあるのかを知ることは、とても大事なことです。



《インターネットトラブル防止講座より》

- 残酷なゲームをして、乱暴になることが問題になっている。
- ネットについて、子どもの知っていることと大人の知っていることに違いがある。
- ゲームには年齢制限がある。年齢制限で、年齢が高いゲーム程、刺激が高い。刺激が高いゲームほど脳への刺激が高く、乱暴になったり、ひどい言葉が出たりする。
- ゲームは、自分の心がコントロールできる人がやってもいい。時間（1時間）を守る。時間を守らないと依存症になる。
- 依存症の初期は、イライラや切れやすい症状になる。

る。そして、自分の心がコントロールできなくなる。依存症は、脳の病気である。

- 「死ぬ」という言葉は、脅迫罪になる。アプリの年齢制限により、訴えられる対象が、本人になったり、保護者になったりする。
- YouTube の年齢制限は18歳からである。友だちや街中の人を許可なく up すると人権侵害になる。
- ネット上でのカード払いには要注意を！実際に、お金をもって買い物に行く経験が大事である。おつりの経験がない子どもが、ネット上でお金のトラブルを起こしている。
- ネット上で、知らない人からギフトをもらわないこと。
- 人の嫌がることは絶対しない。ネットの中に審判員がいる。イエローカードやレッドカードがある。（垢BAN）
- ゲーム時の画面は、初めは小さい画面で、体が大きくなったらステップアップしてもよい。理由は、大型画面は、脳への刺激が大きいから。
- 見られて困ることは絶対に投稿しない。不便な体験が大切だ。コミュニケーションの能力を伸ばす。友だちと直接話をする。あいさつをすることが大事。
- 情報モラルとは、できることとしていいこととは違うということ。